

令和6年度 第4回 与進中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月19日（水） 午前9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 与進中学校 図書室
- 3 出席委員 佐口 丈夫司、 小池 祥之、 栗田 孝代、 中根 その美、
間瀬 宗親、 杉山 和希、 松本 香里
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 石井 智也（長上協働センター所長）
- 6 学 校 吉田 宗弘（校長）、田中 健之（教頭）、古橋 宏直（主幹教諭）
加藤 美希（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 加藤 美希
- 9 議長の選出 佐口会長へ事前に議長の依頼をし、全員意義なく承認した。
- 10 協議事項

- （1） 学校関係者評価
 - ・学校評価アンケート結果
- （2） 来年度の学校運営の基本方針
- （3） 学校運営協議会の自己評価

10 会議記録

司会の古橋主幹教諭から、委員総数7人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

学校評価アンケート結果

○「楽しく分かる授業が実践できた」について

- ・保護者は普段授業を見ていないことから厳しい数値になる中で、生徒・教員共良い結果が出ている。（小池委員）
- ・生徒や先生方が頑張っている様子を保護者に伝えられる機会があるといい。子どもがどんな目標を持って取り組んでいるのか保護者に伝わっているか疑問があり、評価しにくいのではないか。（栗田委員）
- ・学校公開日が少ない中、学校からたより等も発行されているが学校の活動が伝わりにくいのであれば、他の方法等意見を聞きたい。（佐口議長）

○「A Y（あいさつの与進）」について

- ・教職員の数値が低い。指導する立場なのでもっと元気よくと思うからなのか。あいさつは相手のここを開くという意味がある。一番大切なもの。（小池委員）
- ・「A Y（あいさつの与進）」のどんなところが足りないのか。（中根委員）

→あいさつ活動が活発な学校に勤務していた教員からは「あいさつの与進」と掲げている割に弱いと思われる。あいさつはするがもう少し元気よくあいさつを返してほしいというところ。先生方もまず自ら行い、子ども達が活発になればいい。そのためにどんなことができるのか考えていかなければならない。教員や保護者の意識も高まるといい。（吉田校長）

- ・あいさつは家庭が大事。塾の部分では、保護者が今一歩自分の家庭を振り返ってもらえるといいのではないか。（栗田委員）

- ・自分からあいさつをすればみんな返してくれる。自分からするのは勇気がいり、戸惑いがある。（佐口議長）

- ・あいさつはコミュニケーション能力にもつながっていく。これからも続けてほしい。（小池委員）

- ・山登りのルールのように知らない方々ともお互いにあいさつできる社会になるといい。「子ども見守りボランティア」のPRをして、地域の住民の方々との輪が広がっていく活動もやってもいいのではないか。（栗田委員）

- ・市の「子ども見守りボランティア」活動は絶大な効果がある。（中根委員）

- ・思春期にさしかかる中学生は、小学生と比べるとあいさつ活動が難しくなってくるのではないか。以前に比べればあいさつを返してくれるようになった。（間瀬委員）

- ・あいさつは永遠の問題。生徒の実態を見ていると良い学校だと感じる。（佐口議長）

○生徒の実態について

- ・基本的な生活習慣が身に付いておらず、携帯電話やゲーム等を夜遅くまで使用し、昼夜逆転してしまい、遅刻や欠席する生徒が数名いるようだが、この数が増えるのではないかと危機感がある。（佐口議長）

- ・家庭の約束を知りたい。（中根委員）

- ・携帯電話やゲーム等で昼夜逆転してしまっている生徒がいるようだが、小学校でも不登校が増えていると感じる。長期休み明けに登校できない生徒がいると聞くことが増えた。

（杉山委員）

- ・小学校で不登校だった生徒が中学校に入ってくるのはとても心配。（佐口議長）

○いじめについて

- ・学期に1回、いじめアンケートを行っている。いじめアンケート実施の様子をブログに載せている。アンケートの後は先生方との相談週間を設けており、すぐ対応している。そのため、「生徒は安心して楽しい生活を送っている」の数値が高い。（古橋主幹教諭）

- ・学校のいじめに対する早急な対応はありがたい。（佐口議長）

- ・いじめの現状を言える場所があることは大事だと思う。（栗田委員）

- ・生徒と先生方の信頼関係がしっかりできている。もし、困ったことがあれば先生に相談できる関係が大事。困っていることは早く手を打ち、適切な指導をしていただきたい。（小池委員）

○携帯電話について

- ・携帯電話は緊急時の連絡手段として安全のために持っている。情報は良い面と悪い面を持って

いる。（小池委員）

成果・課題・改善案

- ・成果としては、ほぼ達成している。悪いところはあいさつ。子どもの目標について親が認識していない。今後のあいさつの進め方、保護者を含めた子どもの目標の共有化。小学校からの困り事を中学でどうカバーできるか。（佐口議長）
- ・地域での「子ども見守りボランティア」の登録を呼びかけ、地域ぐるみで子ども達を守る。目標の共有化の「目標」とは、どんなものか。（栗田委員）
→学校では目の前にある学習や行事の目標設定と、進路など将来的なことを考えることがある。どのような「目標」なのかわかりやすくしたい。（田中教頭）
- ・アンケートは保護者が答えやすいような言葉、具体的な内容にするとよい。（栗田委員）

（２）来年度の学校運営の基本方針

令和７年度グランドデザイン、学校経営構想（案）の説明（吉田校長）

- ・OJTはとても良い制度。「一人一人が大切にされていると実感できる学校」はとても素晴らしい目標。個別最適な学び（個別指導）と協働的な学び（全体指導）の二本立ても素晴らしい。これは永遠の課題。良いところに着眼されていて賛成。（小池委員）
- ・生徒でも先生でもこの与進で学べたことが良かったという達成感が味わえ、生徒たちが将来また与進中を応援しようという思いに結びついていくと良い。（佐口議長）

→全員意義なく承認した。

（３）学校運営協議会の自己評価

評価項目１から４の説明（佐口議長）

- ・初年度は知る、本年度は発信、次年度はそれを具体的に実践活動・支援活動に結びつける言葉で進んでいけばいい。（小池委員）
- ・次年度の目標は、委員の皆さんの意見をもとに学校でも検討し、新年度の協議会で提案する。（田中教頭）

その他報告事項

- ・次回、学校運営協議会の開催予定
令和７年５月２日（金）午前９時３０分～
- ・来年度の学校運営協議会は全３回に決定
- ・卒業式・入学式の案内